

広報

# なんたん



Vol.51

【特集】

みんなで考え語り合う

あす  
「未来の南丹市」

2012年  
2・3月号



# みんなで考え語り合う「未来の南丹市」

## 広報 なんたん もくじ

昨年11月1日から22日にかけて、佐々木市長をはじめ理事者や市の幹部職員が地域へ出向き、市民の皆さんと意見交換を行う「市政懇談会」を、市内12会場で開催しました。懇談会では、市長から南丹市の原子力防災対策の取り組みについて、また森教育長から学校教育環境整備等検討委員会および中学校給食在り方検討委員会の中間まとめについて説明を行った後、今後取り組みが必要な事項や地域の課題などについて、ご意見やご提案、ご要望をお聞きしました。

いただいたご意見などの中から主な質疑応答の内容を、抜粋して項目別に紹介します。

### ●実施会場と参加者数

(単位：人)

開催日	実施会場	参加者数
11月1日(火)	胡麻基幹集落センター	32
2日(水)	川辺小学校	33
4日(金)	美山知井会館	37
5日(土)	日吉市民センター	35
7日(月)	摩気小学校	25
8日(火)	興風交流センター	25
10日(木)	神吉地区自治振興会館	26
12日(土)	園部公民館	35
13日(日)	美山文化ホール	30
18日(金)	美山林業者等健康管理センター	54
20日(日)	八木公民館	47
22日(火)	氷室の郷	48
	合計	427

- ② 【特集】 みんなで考え語り合う  
「未来の南丹市」
- ⑩ 行政トピックス
  - ・平成24年南丹市消防団出初式
  - ・平成24年南丹市成人式
  - ・南丹市環境パートナーシップ会議 ほか
- ⑭ インフォメーション／市政へのご意見箱Q&A
- ⑮ みんなで描こう協働のキャンパス
- ⑯ いきいき南丹
- ⑰ 人権の窓／環・境・市・民
- ⑱ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ⑲ ぶらりなんたん
- ⑳ みんなのひろば
  - ・クリスマスライト・イン・ミヤマチ
  - ・そのべ軽トラ市 ほか
- ㉒ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

### 今月の表紙

美山かやぶきの里で開催された「第8回美山かやぶきの里雪灯廊」(1月28日～2月4日)において、灯籠づくりに熱中する参加者。家族で楽しく作製されており、試行錯誤しながらオリジナル灯籠づくりに打ち込む姿が印象的でした。

会場は、「雪ってこんなに重たかったっけ」などと笑顔で雪を楽しむ多くの参加者でにぎわっていました。

# 平成23年度 市政懇談会



## 安心・安全の確保

**問** 原子力自体が人類と共存できないと聞いたことがあ  
る。南丹市として、原子力発電  
の継続に賛成しているのか。

〔園部公民館〕

**答** さまざまな意見があるこ  
とも知っていますが、エネ  
ルギー政策は、国が責任をもつ  
て、早急に国民に示さなければ  
ならない事項だと思っていま  
す。市としては、国の動向を見  
守りながら、市民の皆さんに安  
心していただくため、原発事故  
に関する防災計画をできるだけ  
早く策定し、万一の場合の対策  
を万全にしていかなければなら  
ないと考えています。

**問** 原子力発電所の事故などに  
際して、関西電力と協定を  
結ぶなど、南丹市として関西電  
力に対してどのような対応をし  
ていくのか。

〔美山知井会館〕

**答** 関西電力と早期に連絡がと  
れる体制、情報を提供いた

だけの体制、きつちりと話し合  
いができる体制など、国の計  
画、京都府の計画、市の計画が  
整合性を持った形の中で、さま  
ざまな対応ができる関係を構築  
していきたいと思っています。

**問** 報道によると、震災がれき  
を受け入れると表明された  
が、その後受け入れをしないと  
いうことを決定された。震災が  
れきの受け入れについて、もう  
一度考えてほしい。

〔園部公民館〕

**答** 当初、南丹市を含め複数の  
市町村が、震災がれきを受  
け入れるという報道がされまし  
た。発端となった京都府の調査  
は、どれぐらいの量が受け入れ  
られるかという問い合わせで、  
受け入れの可否を確認するもの  
ではありませんでした。しか  
し、受け入れるという報道がさ  
れたため、誤解を解いていただ  
くようお願いしたところ、今度  
は受け入れをしないという報道  
がされました。廃棄物の処理は  
原則当該市町村で行わなければ  
なりません。しかし、施設など  
の問題で処理を依頼された場合  
は、搬入される廃棄物の量はも

ちろん、安全性の確認、運搬す  
る車両の特定、搬入回数などを  
明確にし、現地において現物を  
確認した上で、問題がなければ  
受け取るという対応を、現状で  
はしています。もしも震災がれ  
きについて申し出があれば、そ  
のような手続きを踏むことにな  
りますが、がれきの輸送経費を  
考えたと、現実としては無理で  
はないかという思いを持ってい  
ます。

**問** 避難所となっている公民館  
が、危険地域に入ってい  
る場合、何か補助金はあるの  
か。

〔氷室の郷〕

**答** 指定した避難場所が適切で  
ない場合は、別の場所を指  
定することになります。避難路  
の問題もあるので、地元で協  
議いただき、調整をさせていただ  
いた上で変更することに問題  
はありません。公民館の建て替  
えについては、自治振興補助金  
の活用が考えられます。具体的  
な内容をご相談いただき、より  
良い方法を考えていきたいと思  
います。

**問**

るり溪には約70年経過している砂防ダムがある。このダムが決壊すればどうなるのかという心配をしている。このダムの設計強度や耐震強度、決壊した場合のように事実を把握し、避難指示を出すのか。

〔園部公民館〕

**答**

京都府から、この砂防ダムについては検査をし、欠損などもなく、安全性を確認しているとの報告を受けています。避難指示については、区長さんを通じて電話連絡やCATVでの連絡、消防団を通じての連絡という体制を想定しています

が、防災無線による連絡体制も必要であると考え、未整備区域となっている園部地域の整備に向けて進めている状況で、来年度、何とか設置に向けて予算化



▲経年変化が心配される砂防ダム

していきたくと思っています。

【部長】砂防ダムは京都府の管理施設です。ダム本体は、岩盤にしっかりとへばりついた形で作られています。70年余りを経過し、京都府も経年変化に伴い、一度しっかりとした調査をしようという話をしている状況です。ただし、いつ調査を行うのかなどについては確認できていませんので、確認でき次第、何らかの形でお知らせしたいと思っています。

**問**

人の命はそれぞれ個人で守るしかない。そして、隣近所が助け合うことが重要である。そのような訓練が必要だと思う。

〔氷室の郷〕

**答**

まず、自らが自らの命を守っていたら「自助」が基本だと思っています。その上で、行政がやらなければならぬ「公助」、地域社会が共に手を取り合って取り組んでいただく「共助」、この3つが組み合わさってこそ、防災上の安全性が高まってくると思っています。そのような取り組みを進めていきたいと思っています。



▲総合防災訓練で実施された水防訓練

**問**

地域の要である消防団員が不足しており、充足が困難な状況である。市としてどのように考えているのか。

〔興風交流センター〕

**答**

広域で山もあり、常備消防の中で、地域のことをよく知っている。入団いただいた方には、勤務先へ協力の手紙を送付するなどの対応をしています。依然厳しい状況です。現在、今後の活動方法や運営について、消防団員の皆さんから意見を出していただいております。先進事例も参考にしながら検討を進めたいと考えています。

豊かな育ち・確かな学び

**問**

小学校については、ある程度の人数を確保して教育した方が良いと思う。難しい問題だと思うが、子どもたちのこと、学力のことを優先的に考えて対応してほしい。

〔八木公民館〕

**答**

【教育長】教育委員会としては、あくまでも子どもの豊かな育ちを目指して取り組みを進めています。ご意見のとおり、子どもを中心に考え、将来を支えてくれる子どもの育ちを豊かにするための検討をしっかりと進めていきたいと考えています。

**問**

子どもの人数が少なくなっている。小規模校から中学校へ進学したとき、自己主張ができ、のびのびと中学校生活を送れるような環境を整備してほしい。

〔摩気小学校〕

**答**

【教育長】小規模校の子どもたちが中学校へ入学した時

に、しっかりと力を発揮できる状況を作ることが大切だと考えて取り組みを進めています。各学校における学習集団の規模が小さくなっているため、合同による取り組みや活動でカバーする教育活動を進めたり、小学校の連携による取り組みを進めています。



▲新庄・吉富・神吉の3小学校合同で実施した修学旅行

**問** この地域の小学校では、現在、全校児童数が22人と少なくなり、複式学級が2クラス存在している。中間報告の中で望ましい規模として、1学年18〜20人程度とまとめがされているがイメージが湧かない。小規模校の今後の方向性はどのようなものなのか。

〔美山林健センター〕

**答**

【教育長】子どもたちはその学年の学習内容を、全国同様に学んでいます。少人数では達成することが難しい教科の学習内容などがあり、教育的な角度から考えた場合、少なくとも必要な学習集団が1学年18〜20人程度ということが中間的にまとめられたものです。今後、検討結果と、学校での取り組みをしながら、教育委員会で方向性をしっかりと考えていきたいと思っています。

**問**

統廃合について保護者の関心は高い。少しの情報だけで保護者の考えをまとめるのは難しいので、メリットやデメリットなども含め、情報を整理して提供してほしい。

〔美山知井会館〕

**答**

【教育長】子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域社会などで育っていくものなので、教育問題は学校、保護者、そして地域の皆さんが一緒になって考えていくべきテーマだと思っています。できるだけ情報をオープンにしたいと思っています。検討委員会や教育委員会の会議内容も、ホームページで公

開するなど、できるだけ細かくお伝えしたいと考えています。

**問**

中学校給食について、課題は多いと思うが、そここただわると実施するまでに時間がかかってしまう。検討、検討と言うばかりでなく、実施することが大事だと思う。

〔日吉市民センター〕

**答**

【教育長】今年度、中学生にマッチした南丹市らしい給食の身づくりに関する検討のまとめと、それぞれの中学校に配膳室を整備するための設計、中学校の分まで作る体制のできていない、園部と八木の給食調理場の改修に必要な設計委託料を予算計上し、一步一步手順を踏みながら進めている状況です。また、郷土食や伝統食など、四季折々の旬の食材を使った給食を用意することで、地域やふるさとを感じる教育的な面もあると考えており、協議を進めています。すでに実施している美山中学校の取り組みを参考に、手順を踏んで、3中学校に広げていきたいと考えています。

**問**

小学校や中学校が、災害時の避難場所になっているのが、耐震化はできているのか。

〔日吉市民センター〕

**答**

【教育長】近年、さまざまな災害により、小・中学校に避難される事例が全国で相次いでいます。学校は、まず子どもにとって安心安全な教育施設であるとともに、市民の皆さんの命を守る拠点でもあります。市としても、最も重要な課題であると認識し、取り組みを進めている状況です。



▲耐震化工事を終えた殿田中学校



▲園部第二小学校の子ども見守り活動

**問**

園部の小山東町で午後2時頃、ジャンパーを着て児童の通学の見守りをされている方がいた。定年を過ぎて時間に余裕のある我々にも、お手伝いできることはないか。

〔興風交流センター〕

**答**

【教育長】園部地域の小学校の「子ども見守り隊」のことだと思いますが、地域ボランティアの方々にお世話になっています。その他にも、市内17小学校で、読書ボランティアの皆さんに読み聞かせをお世話になっています。今後、いろいろな場面で地域の皆さんにご協力をいただければと考えていますので、学校から呼び掛けをさせていただきます。ぜひ協力をお願いします。

生活環境の整備

**問**

デマンドバスは、利用者が非常に少ないと聞いています。料金の問題や市営バスとの関係もあると思うが、もう少し使いやすいようにしてほしい。

〔美山知井会館〕

**答**

デマンドバスを試行という形で実施しましたが、これで終わりということにはなりません。利用者の皆さんからさまざまなご意見をお聞かせいただき、地域公共交通会議などの中で議論を積み重ね、知恵を出しながら、できる限り利用者の期待に応えられるようにしていきたいと考えています。

**問**

火葬場というのは嫌われる施設の1つである。一日も早く移転場所を公表し、市民と正面から向き合っていたくことが、早く実現するために必要なことだと思ふ。

〔摩気小学校〕

**答**

今年度、船井郡衛生管理組合において検討委員会を設



▲日吉駅の切符売り場を利用する乗客

置し、何箇所かの候補地の評価をしていたいただきました。現在、衛生管理組合内部において、その詳細な調査をしているところで、年内には決定したいと考えています。場所が決定すれば、市長として説明していかなくてはならないと考えています。

**問**

日吉駅が無人駅になるかもという話を聞いたが、無人になればさらに寂れる。園部駅までは複線化で便利になったが、以北は本数も減り利用者も減少している。市としてさらなる取り組みを進めてほしい。

〔日吉市民センター〕

**答**

JR山陰本線の京都―園部間は完成しましたが、綾部

までの複線化を早急に進める必要があると考えています。綾部市や舞鶴市、福知山市とも連携し、早期の複線化に向けた取り組みを進めるとともに、JRに対し意見や要望を伝えるだけではなく、鉄道を使った観光などにより、連携を強めていきたいと考えています。

**問**

保野田から志和賀にかけて、ダンプカーが頻繁に通るが歩道がない状況で、自転車通学の生徒には危険な状態である。日吉町内の他の道路についても歩道が設置されている所は少ない。歩道を設置することはできないのか。

〔日吉市民センター〕

**答**

子どもや高齢者の安全確保のために歩道を設置することとは必要であり、また外へ出るのも危険な状況では、地域社会の衰退につながると思います。財源が大変厳しい状況ですが、優先順位をつけながら、順次対応していきたいと考えます。なお、ご要望いただいた路線は府道ですので、京都府へ伝えたいと思います。

**問** 八木駅西の土地区画整理事業について、住めば良いまち、住んで良いまちとなるよう、早急に事業を進めてほしい。

〔八木公民館〕

**答** 目的達成のため、私も行政も地域の皆さんと力を合わせ、取り組みを進めていきたいと考えています。



▲区画整理が望まれている八木駅西側一帯

**問** 園部町本町を中心に市街地再開発をされているが、いつ頃の完成をめどとされているのか。また空き地をどのように活用するかなど、具体的なプランを聞かせてほしい。

〔園部公民館〕

**答** 計画に基づき、旧町時代に事業が始まり、合併後も早期に完成することが必要との考えの中で、事業を行ってききました。社会情勢が変化する中で、中心市街地をどのようにすればよいのかについて、現在、関係者の皆さんを中心に、具現化に向けた検討を進めていただいています。

【部長】平成17年度から23年度までという計画で取り組みを進め、現在、面的整備の95%を完了しています。しかし、換地処分などが必要となるため、少し遅れる見込みです。都市計画審議会で議論をいただく必要がありますが、26年度くらいまでの延長をお願いする予定です。

### 地域活力の推進

**問** 市民参加と協働の推進に関する条例の中で定められた第三者機関は設置されたのか。

また、推進計画は策定中なのか教えてほしい。あわせて、その計画に対して市民が発言する機会があるのか。

〔八木公民館〕

**答** 協働のまちづくりについて条例を策定させていただいたが、まちづくりを進めていくためには市民の皆さんの力、行政の力、それぞれの団体の力を結集することが重要であり、市民ニーズに答えられる一つの取り組みだと思っています。

【部長】第三者機関は昨年度末に発足しています。計画については、行政内部だけではなく、市民の方にも参画いただく中で作成していければと考えていますので、現在、検討を進めている状況です。

**問** 人口減少、高齢化が進んでいる中で、女性の力をもつと活用してほしいと思う。また地域力再生についても、女性の力が発揮できるのではないかと。南丹市における男女共同参画を、どのように考えているのか。

〔美山林健センター〕

**答** 女性の方は、地元の事をよく知っておられるし、活発な横のつながりもあり、地域力という面において、大変大きな力をお持ちだと思っています。男性、女性がそれぞれの立場に

おいて、能力や持ち味を發揮していただき、社会活動を積極的に行っていただけるような仕組みづくりが重要であり、必要だと思っています。



▲女性の館主催の文化祭

**問** 振興会組織は美山だけがもっているが、最近は無力感がある。本来は住民の組織なので、行政が方向性を示すものではないと思うが、せっかく組織があるので、住民の声を吸い上げ行政に生かすようにしてはどうか。

〔美山文化ホール〕

**答** 振興会組織については、合併以前から素晴らしいもの

## 地域産業の活性化

だと認識しています。また、これからのまちづくりには地域力が必要だと考えており、これからも振興会の役割をさらに大きなものにしていただくとともに、市としても連携を強化していきたいと考えています。

### 問

南丹市は、50歳以上にとって住みよいまちランキングで8位となっていた。広域で宅地開発が進んでいる所もあれば限界集落の所もあり、なかなか実感として湧いてこない。8番目にランキングしたことをどのようにアピールしていくのか。

〔八木公民館〕

### 答

順位はそのような状況ですが、市民の皆さんが満足されています。住んでいただいている方が、住んでよかったと思っただけのまちづくり、実感していただければならぬと考えられており、そのことが南丹市をアピールすることにつながると考えています。

### 問

これまで農地を守ってこられた人たちが、地主さんに土地を返される事例が出てきた。農地が荒れていく姿を見るのは寂しい。これからどのようにしていけばよいのか考えているところである。

〔興風交流センター〕

### 答

耕作放棄地が増え、山が荒れるという状況は市にとつて最大の課題です。南丹市へ来られた方は、「自然がたくさん残っている」と言われますが、私は「守っていただいているのだ」と強く言っています。この大変厳しい状況の中で、農林業



▲地域の人の手により手入れされた山林

をしていたり、地域の人の努力によって、森林が守られ、環境が守られ、国土保全がされているというのが現状だと認識しています。これらなことを踏まえながら、さまざまな取り組みを進めていきたいと考えています。

### 問

山林について、手入れする段階は終わり、商品化する段階になった。農業の場合はほ場整備や新規就農者支援などがあるが、林業関係の手立てはないのか。

〔神吉自治振興会館〕

### 答

商品化できる木はあるのに、需要がないので切り出せず、切り出せば損失が出る状況となっております。しかし、木材は戦略物資になってきており、このままの状況が続けば外国から木材が入ってこなくなるのが考えられます。そうなれば林業は重要な産業になります。またバイオオマスの分野で注目されているとともに、ペレットストーブの需要も増えています。大変厳しい時代で、行政ができることも限られています。市民の皆さんと力を合

### 問

鹿が多くて非常に困っている。もっと鹿を駆除してもらえないか。

〔川辺小学校〕

### 答

野生鳥獣対策については、抜本的な対策がなく大変苦慮していますが、他の市町村と比べ、多額の予算を付けて対応をしている状況です。対策の一つは柵などの防御施設の充実、もう一つは個体の削減です。国や京都府の制度を最大限活用しながら、引き続き対応をしていきたいと考えています。



▲鳥獣害対策ネットに囲まれている畑





▲清流美山川での鮭の友釣り

**問** 美山川の漁場を守る観点から、川砂の採取をしてもらっている。事業期間があと2年あるが、まだまだ対応しなければならぬ場所がある。一度採取したから終わりということではなく、継続して対応するよう要請してほしい。

〔美山知井会館〕

**答** 美山川の河川環境を守る大切さについては、京都府にもご理解をいただいております。砂利を採取することが河川整備にもつながるとの考えで、対応をお願いしている状況です。今後、美山川の維持などについて、地元の方々と相談をしながら、対応していきたいと考えています。

**問** 美山は、他の地域にない観光的価値があり、全国的に知られている点では抜きん出ていると思う。観光資源をどのように生かしているのか。

〔美山文化ホール〕

**答** 美山は、全国ネットのテレビ番組で放送される回数も多し、新聞に掲載される機会も多く、エコツーリズムやグリーンツーリズムなど、幅広い取り組みをしていただいております。観光は、雇用の拡大や地域振興につながる部分もあるので、積極的な取り組みを進めていきたいと考えています。

## 財政健全化の取り組み

**問** 南丹市は、公債費比率が京都府内で悪い方のトップになつてきたが、合併以後改善されてきたのか。

〔摩気小学校〕

**答** 実質公債費比率が35%を超えると、財政破綻というところも考えられますが、南丹市は現在20%前後で推移しています。

す。国と地方の関係が大きく変化化する中で、まずはこの問題を解決していくことが大切だと思います。財政健全化に取り組んできました。今後も、中期財政計画をまとめる中で、借入額を抑制し、さまざまな施策の見直しや職員数の削減などを積極的にを行い、効率的で効果的な行政運営を行いつつ、市民の皆さんのニーズにあった事業を実施したいと考えています。

**問** 市の遊休地が非常に増えた。土地の有効利用をもう少し考えてほしい。もしも活用が無理ということであれば、民間へ売却するぐらいの勇氣を持つて対応してほしい。

〔園部公民館〕

**答** 市有地およびそれに関連する建物については、有効に活用することが大切だと認識しています。それぞれ目的を持って購入した土地ですが、時代も変わり活用できない土地もたくさんあります。有効活用できない建物については処分し、土地は売却していくことも考えなければならぬと思っています。市が所有している土地、土地開

発公社が所有している土地を優先的に処分または活用していくことが、市の財政健全化につながると思います。

## アンケートの意見（抜粋）

- ・テーマを絞って議論を深める方法を検討してほしい。
- ・住民の意見が多く聞ける場にするべきだと思う。
- ・質問や意見に対する答弁は、簡潔明瞭にしてほしい。
- ・かたくなにない雰囲気の中で、市民と行政が話をできる場になればうれしい。
- ・質問形式ではなく、ワークショップ風に開催してほしい。
- ・細かく開催する年と、町ごとに開催する年がある方がよい。
- ・市民が市政懇談会にもっと興味を持てるよう、アピールすることが必要と思う。

お聞かせいただいたご意見は、これからの市政運営の参考にさせていただきます。

【問い合わせ先】

企画調整課

TEL 0771-68-0008



市民生活の安心・安全確保に活躍



1月8日、スプリングスひよし体育館で、市消防団員371人、京都市中部広域消防組合園部消防署員48人、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付き積載車14台が参加し、市消防団出初式を行いました。

式では、佐々木市長が「今まさに、日本全体が多くの危険と向き合っている。消防団の皆さんには、市民生活の安心・安全確保のため、今後とも地域防災のリーダーとして活躍いただきたい」と式辞を述べた後、益田武彦市消防団長が「昨年、南丹市では大きな災害も無く数件の火災に留めることができた。日頃の活動のお陰と心から感謝する。あらゆる災害に強い消防団組織の確立に向け、今年もより一層消防団活動に尽力いただきたい」と訓示しました。

また、団員の功績、勤続をたたえ京都市消防協会会長表彰、南丹市長表彰、南丹市消防団長表彰などを授与。併せて京都市知事表彰の表彰者を報告するとともに、消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰および丹波地方消防連絡評議会会長表彰の受賞予定者を披露しました。式終了後には日吉ダムをバックに、勢いよく一斉放水を行いました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

■京都市消防協会会長表彰

功績章

【八木】副団長・池田一哉

【美山】副団長・中島勲

勤功章

【八木】分団長・面田敏

【日吉】分団長・井尻恵介

【美山】副団長・小原昭雄

精績章

【園部】部長・内藤高広・片山進

【八木】分団長・辻田浩／副分団長・廣瀬薫

【日吉】部長・吉田幸広・内藤卓磨

【美山】分団長・近澤章／副分団長・川村明彦

精勳章

【園部】部長・山口伸一・木村哲

高屋吉治・奥村敦夫／班長・平田研一／団員・西岡由幸

【八木】副分団長・松本繁／部長・澤田知幸・山内勝久・大西克則

谷学・中西治郎

【日吉】部長・永口智治・湯浅浩史

栃下勝広・塩邊健一・井尻利和

【美山】部長・木戸芳典・近澤幸次

樋口也寸志・原田伸二・下野純一

■南丹市長表彰

【園部】部長・飯田学／班長・長岡誠之／団員・山下真司・下面耕太郎・中井善能・松本圭市・小寺敏博・仲勝・東村英明

【八木】部長・山名匠・川勝大輔・廣瀬崇彦・今西洋介・森雅彦・明田崇・徳見勉／団員・松本剛

【日吉】班長・草川智／団員・吉田泰久・久野義彦・竹野宏明・仲村学・境健次

【美山】部長・相模愛子／班長・早崎勲・西尾晴夫・仲田佳史・竹田茂／団員・岩間利昭

■南丹市消防団長表彰

【園部】部長・辻田清人／班長・田中正章・森昭夫・面田忠明／団員・犬石聡也・木村大樹・藤井基・東古昌樹・野口智生・小寺純二・岡部淳史・山本知克・奥村雅彦・面村康宏・奥村智史・奥村大生

【八木】部長・福田亘孝・廣瀬睦・大鳥羽裕之・八木孝憲／班長・川勝光敏・西村育大・辻井隆一・竹上浩治・広瀬一弥・中野太志・榎原誠二・麻田豊・綿井庸祐／団員・大狩朋範・井尻博也・中辻文隆

【日吉】班長・農本光一・大嶋一彰・斉藤淳一／団員・法谷道哉・出野浩幸・野林寿志・小林剛・佐々木紀彰・井尻伸昭・田中健一

【美山】部長・細川猛司／班長・齋藤友泰・太田敬・山名友紀・堀秀子／団員・長野久好・平井智彦・岡本高明・中島友弘・松尾勇也・堀忠明

■勤続20年表彰

【園部】部長・内藤高広／団員・森豊貴・野々口稔・矢野伸幸・松本昌彦・井尻一夫・小林重美・中村公治・西田学・奥村俊幸  
 【八木】副分団長・黒田英敏／部長・福田亘孝・藤井雅章・池田喜彦／班長・辻井隆一／団員・佐々嘉伸・堤和光・中川政和・人見明芳・浅田勇・宅間博昭・今西孝・松本剛・八木誠司・山田和明・平井幹也・石橋康彦  
 【日吉】副分団長・小林善則／部長・栃下勝広・藤井康典／団員・吉川博康・栃下光治・栃下正人・寺阪浩二  
 【美山】副分団長・松本昭浩／部長・平川博昭・林恭宏・中島徳昭・戸本宏樹／団員・外田洋一・清水博之・平井浩一・小林正秀・武田義史・工藤重行・樋口稔・山崎芳則

■勤続10年表彰

【園部】部長・山口伸一・上原徹也／団員・山本勇二・片山勇次・



▲これまでの消防団活動とその功績を称え団員を表彰

竹中吉正・杉本光・谷口直也・片山康弘・片山勝司・小寺和孝・野々口大介・大坪健司・大坪重樹・面田良弘・佐々谷良・細見信夫・関口英雄  
 【八木】副分団長・松本繁／部長・廣瀬崇彦・大西克則・麻田昭・中西治郎／班長・西村育大／団員・川勝建太郎・伴和彦・川勝裕介・宅間真一・田村泰宏・山下尚史・寺町信也・松本勇紀・廣瀬孝二・村上裕紀・小田貴志・秋田正弥  
 【日吉】班長・塩邊友洋／団員・塩貝強・宇野俊幸・船越英志・

芦田悟・徳本雄大

【美山】部長・小田切太初／班長・下田高義／団員・森省吾・菅井克章・鈴木登・太田雄介・中島友弘・清水隆行・岡本勝弘・村尾智史・木村匡良・小中喜之・堀忠明・下野佳孝・古屋寿

■京都府知事表彰（平成23年11月）  
 永年勤続功労賞

【園部】分団長・松本一宏  
 【美山】分団長・梅津博英・工藤吉幸

精励章

【園部】副分団長・垣村辰男／部長・塚脇健／班長・人羅直志／団員・中納忠博  
 【八木】分団長・浅田崇則・竹上利晴／副分団長・竹上靖彦・今田和宏  
 【日吉】部長・坂本暁人・梶本和広・中瀬克彦・船越耕司  
 【美山】副分団長・上林博文・市川小夜子・山内善樹・中村誠

■消防庁長官表彰（平成24年3月）  
 功労章

【本団】団長・益田武彦  
 永年勤続功労章  
 【八木】副分団長・森山悟志

■日本消防協会長表彰  
 （平成24年3月）

功績章

【美山】副分団長・武田太

精励章

【園部】分団長・大下隆行・谷昇  
 【美山】分団長・眞壁正志・大萱聡

勤続章

【八木】副分団長・八木治  
 【日吉】班長・小嶋道昭／団員・松本司・萩田剛・小川洋澄

■丹波地方消防連絡協議会長表彰  
 （平成24年1月）

【園部】部長・矢野善大／班長・東野康洋・野々口勝美／団員・谷口誠治・西田安征  
 【八木】部長・池田喜彦・齊藤和則・松本貴宏／団員・西田修次・永田育立  
 【日吉】班長・田伏昌之・湯浅和彦・廣野義之・藤井敏久・山本裕稔  
 【美山】部長・大澤繁和・中島徳昭・小崎真弥／班長・中野邦治・小畑幸洋

# 人生の大切さをかみしめ 自分の生き方を探し見つけていきます

—平成24年南丹市成人式—

1月8日、園部公民館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行了しました。スーツや羽織袴など、晴れ着姿の新成人310人が出席しました。会場では、小・中学校時代の恩師や多くの来賓の皆さんが若者の輝かしい前途を祝福しました。



誓いの言葉を述べる木山さん(▲)と馬淵さん(▼)



今年の成人式は、平成3年4月2日から平成4年4月1日生まれの南丹市在住者391人と、市内の小・中学校を卒業した方などで、出席を希望される方々を対象としました。

式典で佐々木市長は、新成人に対し「二十歳になられた皆さんには、社会の一員として地域社会や国の発展のために貢献し、日本の未来を担う責任が生じます。今後、ふるさと南丹市に誇りと愛着を持ち、積極的にまちづくりに参加いただき、共に新しい時代の南丹市を築いてもらいたい」と述べました。

新成人を代表して、馬淵翠さんと木山愛彩さんの二人が「昨年の大震災のニュースに衝撃を受けました。普段の生活がとても幸せであることを実感し、自分の人生を大切にしなければと強く思いました。これから私は、私の生き方を探し見つけていきます。二十歳を迎え、さらに成長していく私たちをこれからも見守ってください」と誓いの言葉を述べられました。「誓いの言葉を作成した馬淵さんは、「私は、ずっと親に心配されながら今まで過ごしてきました。春から親元を離れて一人暮らしをします。ずっと支え続けてくれた両親をはじめ、周りの皆さんに対する

感謝の気持ち、そして自分自身の決意を形にしたいと思い引き受けました」といきさつを語ってくれました。

式典終了後は記念撮影を行い、人生の節目のきらめく姿を写真に収めました。地域ごとに行われた懇談会では、「先生にはよく怒られたけど、今は感謝しています」と笑顔で恩師に感謝を伝える新成人の姿や、かつての友人との再会を懐かしむ姿があらこちらに見られ、会場いっぱい笑顔が溢れていました。

◀久しぶりに会う友人、恩師と記念撮影



▶タイムカプセルを開けて、かつての自分を振り返る出席者

## 将来の環境像の実現に向け

### ―南丹市環境 パートナーシップ会議―

1月13日、第1回南丹市環境パートナーシップ会議を開催しました。この会議では、昨年5月に策定した環境基本計画における将来の環境像「自然と人が結び合う、いきいき南丹市」の実現に向け、具体的な取り組みを企画、実施したり、市民の皆さんをはじめ、来訪者や事業者などの環境活動への参加促進を中心と行って行います。この日は、委員10人に委嘱状を交付し、それぞれの皆さんが意見を出し合い、今後の活動に向け議論しました。



▲第1回の会議の様子



▲事前に作成した積み木を積んで遊ぶ子どもたち  
(1月22日：南丹市国際交流会館)

## ものづくりの楽しさ味わい みんなで楽しく遊んだよ!

### ―地域子育て創生事業「手づくり 積み木地域ふれあい事業」―

ものづくり、遊びを通じた家庭、地域のふれあいや子どもの成長を目的に、NPO法人・京都匠塾の製作指導、NPO法人・グローアップの遊び指導の下、市内4カ所で開催。初回の園部会場では、親子連れ約50人が参加し、ノコギリやカンナを使い、苦労しながらも楽しそうに積み木づくりに打ち込んでいました。会場は、積み木づくりに熱中したり、用意された約7000個の積み木を使って遊んだりする親子でにぎわいました。

### 産科医療功労者

## 厚生労働大臣表彰

おおしま かずや  
大嶋 一也さん

昭和54年から30年以上にわたり、公立南丹病院において、産婦人科医師として尽力。地域の産婦人科医療を守るべく、「お産難民は絶対に出さない」という強い決意の下、日夜献身的に診療に従事してこられました。また、平成17年からは、京都産婦人科医会の理事として、京都府における産婦人科医療の発展に大きく貢献してこられました。これらの功績が評価され、1月27日、産科医療功労者として表彰されました。



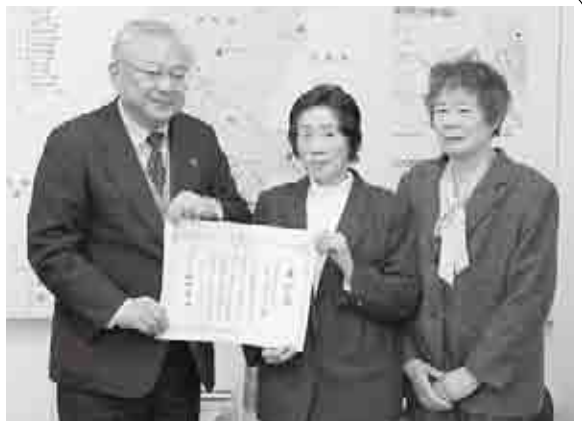
### 障害者自立更生等

## 厚生労働大臣表彰

ひらい きよこ  
平井 喜代子さん

平成4年から八木町身体障害者福祉協会の発展に尽力。特に、平成20年4月の南丹市身体障害者福祉会会長就任後は、住民との交流の機会を設けるなど、障がい者が社会参加できる環境整備に努められました。また、平成22年4月に開設された京都身体障害者結婚相談所南丹分室では、相談員として障がい者の良縁を支援。これらの功績が評価され、12月7日、更生援護功労者として表彰されました。





▲受賞報告を行う大前綾子支部長（中央）と岩井光榮副支部長（右）

地域の食生活改善にご活躍

—京都府保健医療功労者等

知事表彰受賞報告—

昨年11月25日、南丹市食生活改善推進員協議会美山支部が知事表彰を受賞されました。当協議会は、平成2年3月に養成講座修了者27人で、美山町食生活改善推進員協議会として発足。その後、20年以上にわたって生活習慣病予防や親子の食育推進のため、料理教室や学習会を開催し、地域住民の食生活改善に尽力されてきました。長年にわたって地域に根ざした活動をされたことが高く評価されました。



▲これまでの活動や障がい者福祉の現状について話される船越さん

障がい者の相談対応に尽力

—京都府身体障害者福祉関係  
功労者等知事表彰受賞報告—

1月31日、船越昭さんが、援護功労者として知事表彰を受賞されました。船越さんは、平成6年から日吉町身体障害者福祉協議会の理事に就任し、会の発展に尽力。また、京都府から委嘱を受け、京都府身体障害者相談員としても、幅広い相談に乗ってこられました。合併後も旧町福祉協議会の特色ある活動を引き継ぎ、障がい者と住民との交流の機会を設けるなど、障がい者をあたたかく見守る中で、社会参加できる環境整備に貢献されてきました。

市政への  
ご意見箱



Q ① バス停標識を設置してください

中央図書館前（国際交流会館前）の東側にはバス停の標識があるが、西側にはなく、バス停の位置が分かりません。本当にバス停がここではないのかと不安になり、反対方向で待っていたため、乗りたいバスに乗れなかった経験もあります。バス停にはバス停の標識が必要だと思えます。少しでも早く西側にもバス停の標識を設置してください。

（園部町 女性）



「南丹市政へのご意見箱」に寄せられたご意見やご提案の一部（要旨）を、市民の皆さんと情報を共有するため、市からの回答とあわせて紹介しています。

なお、市のホームページにも掲載しています。

A ① ご指摘いただいた場所は、歩道などがあり、歩行者などの通行の妨げになるため、バス停を設置していませんでした。ご意見を受け、図書館の用地を使用できるようにするなど調整し、バス停標識を設置しました。

■「南丹市政へのご意見箱」について

市役所窓口やホームページ内に設置している「ご意見箱」などにお寄せいただいたご意見・ご提言は、市政に生かしていくために市長に報告するとともに、各担当部課で内容を検討し、適切な対応に努めています。

個人情報に関することや、個人・団体などに対する誹謗中傷を除き、「広報なんたん」やホームページで、随時紹介します。

【問い合わせ先】企画調整課

Tel 0771-68-0008

みんなで描こう

# 協働の キャンバス 9

皆さんこんにちは。地域振興課協働推進係です。

このコーナーでは、市民協働・市民参加に関するさまざまな情報を市民の皆さんにお届けします。

今回は、4月から始まる「南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金」についてお知らせします。

まもなく募集が始まります

## 南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金事業の提案

南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金制度は、地域や市域全体で社会問題になっているさまざまな課題について、行政区、市民団体やNPOなどに話し合っていた上、解決に向けた事業を提案・実施していただき、その活動を支援する制度です。協働で事業を展開するためには、ほとんどの場合、「人」と「資金」は必要になってきます。課題解決に向けたアイデアの提供と人の関わりを市民の皆さんに分担していただき、資金の調達や広報活動などを行政が分担する市民協働の役割分担を基本としています。

自由提案型と課題設定型の2種類からそれぞれの活動に合わせて選んでいただけます。

**自由提案型**：市民の皆さんに地域などの課題を提起していただき、それに対する解決方法の提案・実施していただくものです。補助率は10/10となり、上限は10万円までです。

**課題設定型**：行政が課題を設定し、その課題に対する解決方法を提案・実施していただくものです。補助率は10/10です。上限は20万円までです。

課題設定型については、市役所各所属から新年度の課題を上げることになっていますので、お知らせ版などで広報します。

※参考 平成23年度の活用実績：自由提案型3件、課題設定型24件

## お気軽にご相談ください

地域振興課協働推進係では、本制度の内容についてさまざまな相談をお受けしています。様式の調整から、事業の進め方、事業費の執行の仕方など、制度概要や、他の制度の説明なども併せ、事例を示しながら相談に応じます。

何かを始めたい方、まちづくりに興味がある方などは、お気軽にご相談ください。電話、Eメールでの相談もお受けしています。お気軽に相談してください。

### ～みんなではじめてみませんか～

協働のまちづくりは確実に進んでいます。一人で考えずみんなで考えるとアイデアも倍増。アイデアがまとまってきたら、それを形にしてみましょう。失敗しても大丈夫。まずはやってみることが大切です。



國府孝



安木



山田



國府幸



木村

私たちもぜひ皆さんと  
いっしょに汗をかきたい  
と思います。お気軽  
にお声掛けください。

■相談窓口 地域振興課協働推進係 TEL (0771) 68-0019 FAX (0771) 63-0653  
E-mail chiiki@city.nantan.kyoto.jp

# いきいき南丹

-48-

お元気ですか？  
保健師です。



## 年に一度は健康チェック！

「がん検診を受けましょう」

2月中旬に市民健診の申込票を各世帯に送付しました。年に一度の健康チェックとして受診しましょう。

### ■がん検診を受けましょう

がん検診は、市民健診として実施しています。

南丹市民の方で、年齢、性別が該当する方は、どなたでも受診していただけます。

また、大腸がん検診は、40歳から60歳までの5歳刻みの男女、乳がん検診は40歳から60歳までの5歳刻みの女性、子宮頸がん検診は20歳から40歳までの5歳刻みの女性を対象に、平成24年度の検診受診料を無料とします。

対象の方には、4月中旬に「検診無料クーポン券」を送付しますので、この機会にがん検診を受診してください。

### ■死亡原因の第1位はがんです

全国の疾患別死亡原因の第一位はがんです。その部位別内訳は【表1】のとおりです。

【表1】

	男性	女性
1位	肺	大腸
2位	胃	肺
3位	大腸	胃

(平成20年度厚生労働省人口動態統計より)

平成20年度における南丹市の疾患別死亡者原因の1位も全国と同様で、特に40歳を過ぎるとがんによる死亡が多くなっています。

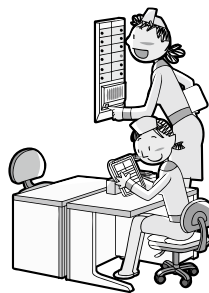
南丹市における部位別内訳は、1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんとなっております。全国の統計

と一致します。

さらに、近年これらの種類のがんは、増加の一途をたどり、女性に関しては、子宮がん、乳がんも増加傾向にあります。

### ■がんも早期発見・治療が大切

病気の予防には、生活習慣の見直しが必要ですが、予防とともに忘れてはいけないのが、早期発見そして早期治療です。



がん検診を受診される機会は、市民健診だけでなく、人間ドック、職場の健診など数多くあります。必ずどこかで受診されることをお勧めします。

### ■がん検診について

がん検診は確定診断ではありません。疑わしい所見のある場合は、「要精検」となり

要精検となり病院で受診された結果、「異常なし」「経過観察」「がん以外の疾患」と診断される



【表2】南丹市がん検診受診者数

検診名	平成22年度	
	受診者数	がん診断者
胃がん	2,092	4
肺がん	3,525	2
大腸がん	3,086	5
前立腺がん	1,129	5
乳がん	1,682	4
子宮がん	2,508	1
計		21

(平成23年3月現在のデータ)

方が多いのですが、中には大きな病気が見つかる場合もあります。検診で「要精検」と判定された方は、必ず医療機関で確定診断を受けてください。

検診を申し込むことが、健康づくりの第一歩です。

自分の健康は自分で守る。がん検診を受けましょう。



◆問合せ先 保健医療課

TEL (0771) 68-0016



## 「親子で考える人権学習」

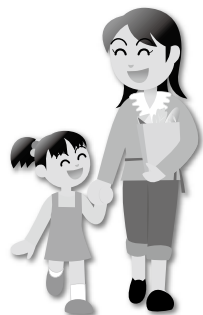
～2年生の学習を振り返って～



「そんな言い方は、ちよつと偉そうに言ってるからあかんと思う」「こんな時、どう言えばいいのかな」。

**摩** 気小学校での親子人権学習の中の2年生の児童の発言です。

摩気小学校では、いつも自分自身と友達や周りの人たちを大切にしている「やさしい子」を『めざす児童像』の一つに掲げています。春には全校で摩気小学校の人権目標を決め、毎学期人権旬間を設けて自分自身を振り返る大切な機会として位置付けています。



3学期には、全学年、親子で人権について考える機会として保護者参加型の人権学習の授業を行っています。2年生では、言葉の使い方、言い方について親子で考える授業を行いました。いろいろな日常の場面でごんな時にはどう言えいいのかを考えました。

## 遊

びの仲間に入れてもらおう時の場面を想定しました。「なあなあ、入れて」「一緒に遊ぼう」と口調の優しさで表現する児童に対して、お家の方は、「一緒に遊びたいから、入れてくれへん」と口調の優しさだけでなく言葉で気持ちを表しておられました。

## 確

かに口調の優しさはとても大切ですが、自分の思っていることが相手に伝わらないこともよくあります。お家の方と一緒に考えることで、相手の気持ちも言葉でうながら、自分の気持ちも言葉でうまく表現する大切さを学ぶことができました。



「心と心を つなぐ大切な言葉」について、親子でじっくり確かめ合うことができました。

本校は「毎日がかげがえのな い一人一人の人権をこれからも大切にできる児童を育てていきます。」

(摩気小学校 人権教育主任

尾坂 志保)

## 環・境・市・民

～感激！～

「エコ発見」



エコちゃん 第24回

南丹市環境基本計画の具体的な取り組みを企画、推進する「南丹市環境パートナーシップ会議」が発足しました。(詳細は、今号の行政トピックス参照)今回はその委員の方に応募の動機や抱負を聞いてみました。

### 中村 新さん(八木町船枝)



「以前から自然環境には興味があり、地域と関わり

ながら生活したいと思っていました。南丹市には素晴らしい自然環境があります。それらをまちづくりを生かす仕組みと住民の意識によって、まちはもつと良くなると思います。私は有機農業に携わっているの、農業を切り口に活動したいと思えます。八木バ イオエコロジーセンターの有

効活用や技術開発にも貢献したいと思えます。また、都会の人に田舎体験などを通して南丹市の自然の良さを知ってもらい、農業や林業を営む人々の喜びと苦労も全て分かち合えるような深い交流がしたいと思えます」。

### 黒川 正子さん(目吉町胡麻)



「手入れの行き届かないところにごみのポイ捨てや不法投棄を見掛けます。ごみを捨てる気持ちを起こさせない美しい環境づくりをするこ

とで不法投棄が減ると思います。一人では何もできないけど、仲間がいればみんなで考えを出し合ってやっていけると思いました。南丹市には美しい景観が多くあります。それを生かした新しい発想で若い人が住みたくなるまちづくりや、観光客も住民もほっと癒される環境づくりを進め、南丹市をもつと魅力的なまちにしたいです。目標は大きく持ち、身近なことをこつこつやっていきたいと思えます」。

(環境課)



オーサー・ビジットを実施しました

市立図書館では、地域ぐるみの読書活動推進事業の一環として、オーサー・ビジットという取り組みを実施しています。この取り組みは、絵本作家などと小・中学生が直接交流することを通して、子どもたちの読書推進を図ることを目的としています。

今年度は、市内の全小・中学生を対象に、長谷川義史さんなど6人の作家の皆さんにお越しいただきました。子どもたちは初めて出会う作家さんにワクワク。そして、お話

作品介绍



長谷川義史 / 作  
絵本館 / 発行



宮西達也 / 作  
ポプラ社 / 発行



▲作家の長谷川義史さんの話に聞き入る摩気小学校の児童

が始まると目をキラキラと輝かせ、お話の世界に引き込まれていました。「本物」に触れることによって、読書意欲はもとより、「生きる力」のエッセンスを見つけられるような出会いであったのではないのでしょうか。オーサー・ビジットの後、すぐに出会った作家の本を借りに来る子どもたちもたくさんいました。お世話になった作家の方々作品の一部を紹介します。皆さんも一度読んでみてはいかがでしょうか。

暮らしとホッと

—第18回—  
消費生活情報

■還付金詐欺に要注意!

再び、全国的に還付金詐欺被害の報告がされています。南丹市でも昨年末に被害が出ていますのでご注意ください。

〈進化する手口〉

その手口とは、市町村の職員を名乗り「医療費の控除の手続きをしてください」と電話をかけ、個人情報や携帯電話の有無を聞き出してATM機に誘導し、あらかじめ「社会保険事務所」などと教えておいた電話番号にかけさせます。携帯電話でATMの操作を巧みに指示し、キャッシュカードを利用し口座の残高を振り込ませます。現金でなくカードであるため、被害者は振り込んでしまったことになかなか気が付きません。また、公的機関や金融機関を名乗って直接キャッシュカードを預かりに来る場合もあります。

■被害に遭わないための注意

- ① 不用意に個人情報(取扱金融機関・口座番号・キャッシュカードの暗証番号)などは教えないようにしましょう。
- ② 役所がATM機を通じてお金の受け渡しをするような手続きはありません。
- ③ 「〇〇にかけてください」と言われた番号が正しいものであるか再度確認しましょう。
- ④ 自分だけでは判断しないで、家族や知人に相談しましょう。急がずものには注意してください。
- ⑤ 日ごろから防災無線や市の広報などに注意して情報を収集しましょう。

■不審な電話や訪問があつたら

警察、市の消費生活相談窓口 に迷わず相談してください。また、情報提供などにご協力をお願いいたします。

—南丹市消費生活相談窓口—

開設:火、金曜日

時間:午前9時~正午

午後1時~4時

Tel 0771 (68) 0100

—南丹警察署—

Tel 0771 (62) 0110

(商工観光課)



## 手のひらを太陽に! ～笑顔、元気の仕掛け人「ドレミグループ」～

平成12年から活動されているボランティア「ドレミグループ」は、市内の福祉施設でのイベントや敬老会など地域のイベントで、日本の伝統的な歌や踊りなどの出し物を披露しております。現在は、仲の良い8人のメンバーで美山地域を中心に活動されています。

きっかけは、南丹市社会福祉協議会が開催したレクリエーション指導講座。「私たちも何かしたい」と思われ、それ以来、イベントを盛り上げるためにレクリエーションの勉強をし、現在では、4人が日本レクリエーション協会からレクリエーションインストラクターとして認定を受けておられます。1月11日には、ワークセンター



▲ワークセンターびびでの例会の様子

毎月第2水曜日に、ワークセンターびびで、打ち合わせを兼ねた例会を開いています。これからの活動や出演依頼の状況、出し物の練習などを協議します。

今年も、市内のさまざまな場所でも出し物を披露します。出演をご希望の方は、お気軽に下記にご依頼ください。

### メンバー募集中

現在8人で活動しているドレミグループでは、一緒に活動していただけるメンバーを募集しています。

仲の良いメンバーで、季節ごとの出し物を計画したり、お茶をしながら話をしたりと楽しく活動しています。

一緒にやりがいを感じながら活動してみませんか。現在、男性のメンバーが1人なので、男性は特に大歓迎です。興味のある方はお問い合わせください。

南丹市社会福祉協議会  
美山支所  
TEL : 0771-75-0020



▲「ドレミグループ」と一緒に踊る会場の皆さん(ワークセンターびび)

びびでのオープンランチに出演され、リズム体操やソーラン節などを発表。テーマソングの「手のひらを太陽に」では、会場の手拍子に合わせて歌い、会場と一体になって盛り上がりました。

「新しい出し物でイベントを盛り上げたいなどと考えると、大変だと感じることもあります。本を買って勉強することもあるんですよ」と苦勞を話すメンバーの方もおられました。代表の岸本さんは「出演先で『帰らないで』と抱き付かれたこともあり。多くの人に会い、楽しんでもらうことはとても幸せなこと。感謝の言葉をいただく度に頑張ろうと思います」とやりがいを話してくださいました。

他のボランティア活動などで多忙な皆さんですが、活動をとっても楽しんでおられます。そんな皆さんだからこそ、見る人を笑顔にし、元気にできるのかも知れません。

丹波地方の特産品を軽自動車で販売する「そのべ軽トラ市」が、京都銀行園部支店西側の市有地で開催されました。この催しは、丹波各地から人や産品を集め、街なかに元気とにぎわいを創出しようと、市や商工会、市民グループで構成する南丹市中心市街地活性化推進委員会が企画。昨年12月から第4日曜日の午前中に開催されています。会場には、採りたての新鮮な野菜や加工品などが並べられ、市内外からの来場者でにぎわっていました。京都市から来られた女性は「珍しい催し。野菜が新鮮だし、いろいろなものがあるって楽しい。また来たい」と話されていました。



▲多くの来場者でにぎわう会場（第2回目の様子）

「人・もの集め、街なかににぎわいを」

1/22 そのべ軽トラ市

みんなのひろば  
まちの話題を紹介します



▲シンボルロードに並べられたクリスマスツリー

宮町華倶楽部が、市街地の活性化や宮町区民のコミュニケーションを深めるため、昨年7月の「宮町華灯り」に引き続きシンボルロードを舞台に開催。宮町華倶楽部は、南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金制度を活用し、平成22年度から活動されています。昨年10月から市民の皆さんにペットボトルの提供を呼び掛け、集まった3500本を使用しクリスマスツリーを作成しました。当日は、LEDライトを使用した大小32基の手づくりツリーが並び、その暖かな灯りが聖夜のシンボルロードに華を添えました。

「聖夜を飾る市民の手づくりツリー」

12/23〜25日 クリスマスライト・イン・ミヤマチ



▲ツリーを準備する宮町華倶楽部のメンバー

「はじめましてから  
楽しい会話はずむ」

12/23 南丹市婚活イベント



◀会話を楽しみながら鍋を囲む参加者

南丹市で結婚、出産、子育てをしていただくきっかけとして、美山町自然文化村で婚活イベントを開催。市内在住の男性21人と市内外から女性24人が出会いを求めて参加されました。1対1の自己紹介から始まり、餅つきをするなど時間とともに緊張もほぐれ、昼食の鍋では、テーブルごとに楽しい会話が弾んでいました。午後からは、バンドの演奏を聞いたりゲームをしたりして交流を深め、最後はオクラホマミキサーを踊り、素敵な時間を過ごしました。



▲仲良くバケツで灯笼をつくる参加者

今回で8回目となる美山かやぶきの里雪灯廊が開催。最終日の2月4日の灯笼づくりには、降り積もったたくさんの雪を使い、作品づくりに熱中する参加者でにぎわいました。中には、外国からの参加者もあり、会場にはそれぞれの個性を生かした作品が並びました。訪れた人々は、オリジナル灯笼と灯りのともった雪化粧のかやぶきの里が作り出す幻想的な冬景色を堪能されました。初日と最終日には、花火が打ち上げられ、屋台で販売される豚汁やおでんなどで体を暖めながら観賞する姿が会場のあちらこちらで見られました。

（1/28～2/4 第8回美山かやぶきの里雪灯廊）

## 「広がる銀世界の中、灯笼作りに熱中」

## 「世界を見る目育てるきっかけに」

サイパン島から生徒3人とフーレス市長ら計7人が南丹市を訪問されました。2月7日には、市内の中学生32人などで歓迎会を開催しました。歓迎会では、市内中学生が各学校ごとに英語で自分たちの学校の紹介を兼ねた歓迎スピーチを述べ、プレゼント交換をした後、茶道、書道、折り紙などで日本文化を紹介。交流会を通して親交が深まり、笑顔が溢れる国際交流の場となりました。



▲訪日団と交流する市内中学生

（2/7 サイパン島青少年訪日団歓迎会）

## 「冬空力走・なべで心身あたたため」



▲スタートの合図と同時に勢よく走り出す参加者

南丹市八木運動公園をスタート・ゴールとする「大堰川ジョギング大会」が今年も開かれ、5km、2.3kmのロードレースの部、公園内を周回する1.5kmのファミリージョギングの部に合計224人が参加し力走。厳しい冬の天候の中、顔中に汗を浮かべてゴールする参加者の姿が印象的で、「この大会に向けて毎日走ってきた。自分のベストな走りができた」と語る参加者もおられました。レース後は、みず菜や山の芋などの地元野菜を使った「大堰川なべ」を食べ、心と体を暖めました。

（1/29 大堰川ジョギング大会）

## 「チーム一丸となって勝利へシュート」

スプリングスカップ・ミニバスケットボール大会がスプリングスひよし体育館で開催されました。例年は、6年生最後の公式戦として3月に開催されますが、今年は会場の都合で12月の開催となりました。大会には、地元南丹市のチームと、招待チームを加えた、男女18チームが参加。初日は、3ブロックに別れ予選を行い、2日目は順位決定戦を行いました。白熱した戦いの結果、男子の部は園部ミニバスケットボールクラブが優勝、また女子の部は日吉スポーツ少年団・ラビットが3位の栄冠に輝きました。



▲ディフェンスをかわしシュートをする選手

（12/10・11 第11回スプリングスカップ・ミニバスケットボール大会）

# なんたんミュージアム

—南丹市立八木小学校—

※担任の先生、担当教科の先生の  
講評を掲載しています。

「おしゃれな

トラ」  
長島 聖空さん（1年）



▲いろいろな色を組み合わせ、細かいところまで丁寧に仕上げることができました。

「ひまわりと友だち」

大石 花さん（2年）



▶大きな花をよく見て、元気よく描きました。子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子がよく伝わってきます。

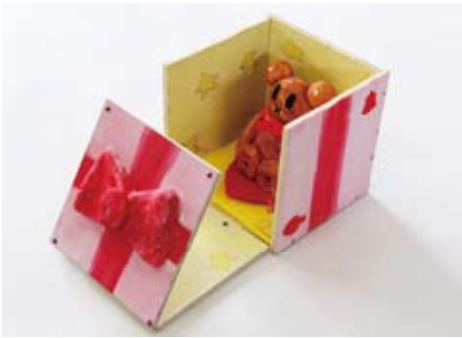
「広がる夢」

國府 杏菜さん（5年）

# 広がる夢

五年 國府杏菜

▶しつかりとした太さで、力強く、一画一画丁寧に書くことができました。夢も大きくなって素晴らしいです。



▲板と粘土を上手に組み合わせて、とてもかわいらしい作品を作ることができました。

「プレゼントの中」

八木 海音さん（6年）

## 編集後記

今号の取材では、自分の母校に行き、熱心に児童と向き合う優しい先生方にお世話になりました。私が通っていたときの校舎。思い出の校舎。「仕事」で訪れる不思議な感覚を感じながら、楽しく取材をさせていただきました。「こんなことして遊んだなあ」などと思い出され、当時の恩師の方々が友人の顔が浮かんできました。

(F)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ  
森・里・街がきらめくふるさと 南丹市 なんたんし



●総人口：34,293人（-24）  
（男：16,484人・女：17,809人）  
（-13） （-11）  
●世帯数：13,665世帯（-14）  
（平成24年2月1日現在）  
（ ）内は前月比



わが家の★  
アイドル

●園部町

さかもと める 阪本 芽琉ちゃん（1歳6カ月）

「いつもニコニコ明るい芽琉ちゃんはわが家のアイドル☆いつもかわいい笑顔をありがとう。これからも笑顔の絶えない仲良し家族でいようね☆」  
（パパ・ママより）

写真掲載の応募をお待ちしています。（応募数によっては順番待ちになることがあります）詳しくは企画調整課秘書広報係まで

広報  
なんたん

編集・発行：南丹市役所 企画政策部企画調整課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0008 FAX:0771-63-0653  
URL: <http://www.city.nantan.kyoto.jp>  
e-mail: [kikaku@city.nantan.kyoto.jp](mailto:kikaku@city.nantan.kyoto.jp)



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、ベジタブルインク（植物油）を採用しています。